

会報

茨城

iBARAKI

<https://www.i-jk.org>

79
2024 FEB

The Bulletin of Ibaraki
Association of
Architectural Firms

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

[特集]首長インタビュー 石岡市長に聞く

歴史・文化・ 芸術を活かした まちづくり





会報
茨城

79
2024 FEB

題字／大井川 和彦(茨城県知事)

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
2024年2月 第79号

<https://www.i-jk.org>

01

令和6年 年頭のご挨拶

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会 会長 舟幡 健

02

報告 ●令和5年度

年末懇親会開催される

04

報告 ●第38回 会員親睦ゴルフ大会

06

報告 ●第59回「明日を創る建築講座」参加報告

07

報告 ●全国大会「鳥取・島根大会」参加報告

08

連載 ●第2回

建築士事務所が知っておきたい 法律知識

12

特集 ●首長インタビュー 石岡市長に聞く

歴史・文化・芸術を 活かしたまちづくり

17

報告 ●令和5年度 建築視察研修

古都「奈良」「大阪」

～世界文化遺産の建築物から近・現代建築を巡る旅～

23

報告 ●建築士事務所キャンペーンin建設フェスタ2023

27

報告 ●2023年 表彰 / 新会員紹介

28

報告 ●会員変更事項一覧 / 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染症法上の分類がインフルエンザと同じ5類となり行動制限もなくなりましたが、昨年から続くロシアによるウクライナ侵攻や円安による建設資材や燃料の高騰及び時間外労働規制など建設業界の環境悪化が進んでいる状況にあります。

当協会におきましては、通常総会後の懇親会、7月の合同大納涼会及び年末懇親会をコロナ前と同じように実施することとしたので、会員の皆様と歓談することができ、有意義な時間を過ごすことができました。

そして、新しい年、令和6年を迎ましたが、今年は協会創立40周年を迎えます。4月に記念式典を行いますが、創立に関わられた諸先輩や今までご支援とご協力を頂きました会員の皆様に感謝するとともに、これから協会発展のために更なるご支援とご協力をお願いいたします。

一方、コロナ禍によって縮小していた協会活動の活性化や協会事業等の見直しが必要になっています。課題が顕在化した事業については改善を加えるとともに、新規事業の掘起しを行うなど事業の活性化を図り、ひいては協会の組織強化に繋げて参ります。

また、国においてはデジタル化社会形成や脱炭素社会実現に向け様々な取組みが進められており、建築設計業界においても、今後、BIM等の普及によって設計環境の変化が想定されるとともに、令和7年4月からすべての建築物に省エネ基準が適用されますので、それらを見据えた講習会や省エネ基準に対する支援体制の構築を実施するなど、社会の変化に対応できるよう会員のスキルアップに努めて参ります。

更に、会員の高齢化に伴う退会者の増加は大きな問題になっています。会員の減少は、協会活動に重大な弊害をもたらすことになりますので、引き続き最重要課題として会員増強に力を注いで参ります。それらを実現するためには、何より会員の皆様の力の結集が必要となりますので、ご協力の程よろしくお願ひいします。

昨年は、関東大震災から100年の節目の年であり、新聞等でも特集として写真等が掲載され当時の被害状況が確認でき、改めて防災意識が大切だと認識しましたので、本年も防災・災害対策に積極的に取組み、建築物の安全・安心の推進に関わっていく所存でございますので、会員の皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

また、元旦に発生した能登半島地震は半島という地形のため、道路の寸断によって救助活動や物資輸送に大きな障害が生じているようですが、亡くなりになられました方々のご冥福をお祈りするとともに被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして、より良い年でありますよう心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

一般社団法人
茨城県建築士事務所協会 会長

舟幡 健



表紙の写真



表紙の写真／山車大行列前の競演
裏表紙の写真／石岡市役所本庁舎

年末懇親会
日時／令和5年12月1日(金)
会場／水戸プラザホテル
報告／会員委員会 渡辺 昌弘

令和5年度 年末懇親会開催される

今年度は、4年ぶりに感染規制等制限無しで開催することができました。

お世話になっている方へのご挨拶や名刺交換が行われ、和やかな雰囲気に包まれました。



皆さまの今後のご発展を祝して乾杯！



茨城新聞文化福祉事業団へ
舟橋会長から歳末助け合いチャリティー金の寄附



茨城音楽専門学校の卒業生による生演奏会



ラッキーカード抽選会を開催



茨城県知事 大井川 和彦 氏



衆議院議員 梶山 弘志 氏（協会最高顧問）



衆議院議員 田所 嘉徳 氏



参議院議員 上月 良祐 氏



参議院議員 加藤 明良 氏



水戸市長 高橋 靖 氏



県議会議員 西野 一 氏（協会顧問）



県議会議員 木本 信太郎 氏（協会顧問）



伊勢甚グループは2024年10月1日に
創業300周年を迎えます。

伊勢甚グループ
水戸プラザホテル
Urban & Community

Tel.029-305-8111(代表)
<http://www.mito-plaza.jp/>

第38回 会員親睦ゴルフ大会

天候にも恵まれ80余名の参加者で楽しくプレーでき
最良の交流や親睦を図る意義のある大会が開催できました。



9月14日(木)第38回会員親睦ゴルフ大会が富士カントリー笠間俱楽部で開催されました。

昨年は、新型コロナ感染の影響により午前中のハーフスコアによる新ペリア方式で行いましたが、今年度は18ホールストロークプレーによる開催となりました。

天候にも恵まれ80余名の参加者で楽しくプレーが出来ました。正会員と賛助会員の交流の機会としても非常に意義ある大会であり、例年会員の皆様より好評を得ております。

プレー終了後はクラブハウスにて軽部理事の軽快な司会によりパーティーが行われました。主催者代表の挨拶に続き、毎回参加者の善意で集まったチャリティー金を今回は「茨城新聞文化福祉事業団」へ寄付させていただきました。

続いて結果発表と表彰式が行われ、和やかな雰囲気のなか最良の交流及び親睦が図られたのではないでしょうか。

今年も皆様の御協力のおかげで、無事親睦ゴルフが開催できましたことを、心より御礼申し上げます。

成績表

優 勝 / 万道 博志	ネット72.0
準優勝 / 渡辺 昌弘	ネット72.8
3 位 / 岡 衆司	ネット73.0
ペスグロ / 鈴木 水行	グロス76



「茨城新聞文化福祉事業団」へチャリティー金の寄付



乾杯する参加者



結果発表と表彰式の様子

今年も皆様の御協力のおかげで、開催できましたことを、心より御礼申し上げます。



明日を創る建築講座
日時／令和5年8月19日(土)
会場／花やまと山サークルロッジ
報告／研修委員会 長谷川 淳

第59回「明日を創る建築講座」 参加報告

今回は第36回茨城建築文化賞茨城県建築士事務所協会長賞に輝いた、
花やまと山サークルロッジ(石岡市ふれあいの森宿泊棟)の視察研修会を行いました。



若柳・大山設計共同企業体の大山早嗣氏より説明頂きました

令和5年8月19日(土)に第36回茨城建築文化賞茨城県建築士事務所協会長賞に輝いた、花やまと山サークルロッジの視察研修会を行いました。

「茨城建築文化賞」とは地域の周辺環境に調和し景観上及び機能的に優れた建築物を表彰し、文化の香り高い魅力的な街づくりを目的に実施しております。

始めに河野副会長の挨拶で始まり、若柳・大山設計共同企業体の大山早嗣氏より、設計コンセプトから竣工までの経緯で、特に工期が限られた点が大変苦労されたと説明頂きました。そこで茨城県産材の利用や工期短縮を含めた環境負荷の軽減、木の風合いを最大限に生かすための角材を束ねた面材のパネルログ採用の説明を頂きました。このパネルログは、今後の木造建築の材料として十分に期待出来るものと思われました。丘陵地の最長部に建設したサークルロッジは、まさに自然と調和した素晴らしい建物でした。

来年度もまた茨城建築文化賞の作品の視察研修を実施しますので是非ご参加ください。



説明する講師の大山氏と若柳氏
構造を担当した大谷氏

第45回建築士事務所全国大会(鳥取・島根大会)
日時／令和5年10月13日(金)
会場／米子コンベンションセンター
報告／総務委員会委員長 飯島 洋省

全国大会「鳥取・島根大会」参加報告

昨年の熊本大会からバトンを引き継ぎ、米子市の米子コンベンションセンターにて開催されました。
当茨城会からは、会長、副会長を含め20名の参加となりました。



式典の様子

本单位会からの受賞者

- 日事連年次功労者表彰
根本 洋一朗氏
- 日事連建築賞奨励賞(小規模部門)
(株)若柳建築事務所
(株)大山都市建築設計



茨城会の皆様

「神話のふるさと 悠久の山陰からの挑戦」が 大会テーマ

令和5年10月13日、第45回建築士事務所全国大会(鳥取・島根大会)が、米子市の米子コンベンションセンターにて、「神話のふるさと 悠久の山陰からの挑戦」を大会テーマに開催されました。

昨年の熊本大会からバトンを引き継いで開催となります。

大会では、まず開催行事として、建築家の内藤廣氏による「グラントワから考える山陰からの挑戦」と題した基調講演が行われました。因みに、グラントワとは、内藤氏が設計した島根芸術文化センターです。

続いて、大会式典では、日事連建築賞表彰、年次功労賞表彰等が行われ、全国の建築士事務所協会会員、来賓を合わせ、1200余名の参加があり、当茨城会からは、会長、副会長を含め20名の参加となりました。

大会式典前日の12日には、「八百万の神が集う地で想いを紡ぐ～そして全国へ～」をテーマに、若手建築士を中心とした『青年話創会2023鳥取・島根大会』が開催され、全国から約160名の参加があり、活発な意見交換が行われました。

次回の第46回建築士事務所全国大会は、令和6年10月11日に北陸新幹線がつながる福井で開催されます。今年参加できなかった方も、来年は参加してみてはいかがでしょうか。

た。また、13日には「生み出す建築、はぐくむ人～今、私たちが伝えていきたいこと～」をテーマに、全国の会員事務所に所属する女性所員による『女性交流会2023 鳥取・島根大会』も同時に開催され、約70名の参加者の交流が行われました。

建築士事務所が 知っておきたい法律知識

第2回

水口二良(水口・野村法律事務所)弁護士に建築では必ず知っておきたい
さまざまな対応処置、そして生かされる法律について学びます

水口・野村法律事務所
弁護士
水口 二良



2.「証拠は大切」

1 遠山の金さん

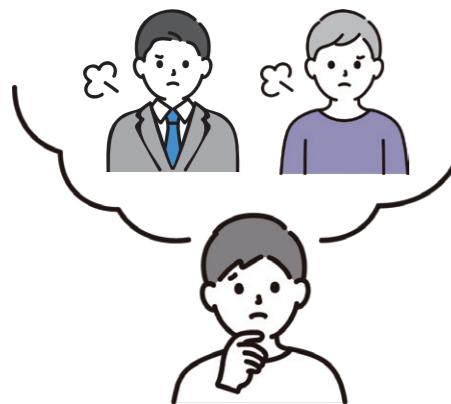
時代劇でおなじみの北町奉行遠山金四郎影元が遊び人の金さんになって悪事を暴く物語は高齢者の皆様なら誰でもご存知かと思います。

善良な被害者が金さんを証人にと口にするのを悪人達がののしると、「この桜吹雪に見覚えがねえとは言わせなねえぜ」と言いながら片肌を脱いでみせ、悪人達がそれを見て恐れ入りましたと事実を認める展開です。

2 事実は証明されてはじめて「真実」となる

この遠山の金さんの話しのように、事実は証明されてこそ真実として認められます。そして、このような遠山の金さんこそがまさに「証拠」という訳です。これは「水戸黄門」も似ています。

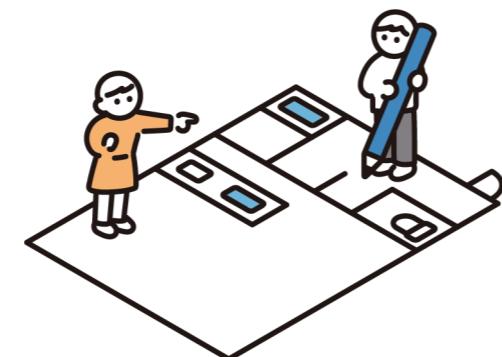
水掛論という状態の時、当事者はそれぞれ自分の体験で判断し何が真実たる事実かを主張します。その意味遠山の金さんは、当事者でもありますから、どちらの主張が真実かは自らの体験で判断できます。しかし、その場にいなかつたり経緯を知らない者(第三者)は、当事者の言い分と資料からしか何が真実かを判断することが出来ません。



その判断資料となるものを証拠と言っている訳です。実際のところ、「事実は、小説より奇なり」というように、一見有り得ないような主張でも真実であることがありますし、逆にもっともらしくても真実ではないこともあります。ですから、証拠は、第三者が真実を判断するうえでとても重要且つ不可欠なものです。

3 証拠となるもの

証拠の種類は①直接証拠②間接証拠③実質証拠④補助証拠に分類されます(この他に⑤本証・反証や⑥供述証拠・非供述証拠というような分類もあります)。



直接証拠というのは、例えば変更の依頼を受けたということを証明する時に依頼した事実そのものをズバリ証明するための証拠であり、例えば変更依頼書・指図書とか、変更合意書はこれにあたります。間接証拠というのは、変更依頼があったことを間接的に証明する事実(これを間接事実といいます)を証明する証拠をいいます。例えば変更して作成した図面などはこれにあたります。ただし、施主側が設計者から提案てきて作成されたものだと、本来の設計の中での変更だというように主張した場合には、この証拠のみでは足らなくなりますから、直接証拠よりは証拠としての証明力が弱くなります。

いずれにせよ、証拠は第三者に事実判断してもらうためのものですから、真実として認めて貰いたい内容が、



○○などを書いておけば仮に署名や捺印がなくても施主の自筆と証明されれば変更指示の証拠となる可能性があります。但し、簡略な書き方ではあっても、「いつ、誰が、何を、どのように」程度が解る内容のものであることが望ましいことは、間違いません。また設計者が作成したメモに施主がサインしたりするだけでも変更合意書あるいは指示書として証拠になるかと思われます。

また、設計者がその時に自分で作成したメモであっても証拠として認められる事が少なくありません。

4 証拠の確保を習慣にすること

水掛論の紛争が裁判となると、例えば追加変更なり何かを決めたという事実の主張について「決めた時期・時間、決めた場所、その場所にいた当事者、記録作成の有無とその存否・内容」の主張を求められますし、監理にあっては管理との関係や具体的に監理を行った内容の主張が求められ、次にそれらを裏付ける証拠の有無と提出が求められます。従って紛争の場合、設計や監理の節目節目には証拠となるものが必要となります。



わかりやすくなっていることが大切です。特に裁判となるような争いの場合、裁判官は証拠から真実たる事実を判断する訓練を受けたプロではありますが、設計や建築のプロではありませんから、いわゆる「業界の常識」という判断基準によっての判断とはズレてしまうことも少なくありません。従って設計者の立場で十分な証明力があると思っていてもそうではないということとなりますので、何か設計や監理を進めていくなかで施主との間での意見の相違のようなものを感じた場合にはとりあえず、裁判官と同様に法的な専門家ではあっても設計や建築のプロではない弁護士に証拠としての証明力の判断を仰ぐということが肝要です。そこで弁護士が証明力不足と考えれば証明力を補強するためのアドバイスをすることができます。

ところで、そのような証拠としては、①契約書、指示書、図面などの書面(書証)②事実や事情を知る人物などのいわゆる証人(人証)③現場検証や鑑定などの結果などがあります。

このうち、書証となる書面は、通常、何か特別な用紙・様式はありません。例えば遺言の有無が争われた事案で広告の裏に書かれた「私の財産を全て○○に、相続させます」と書かれ日時と氏名が自署されたような簡単な内容でのものが遺言書と認められた例があります。また、名刺の裏やメモ用紙に設計変更の要旨(例えば「変更希望箇所

しかし、証拠となる書類や録音は実際の現場ではなかなか作成が難しい面倒に感じるのが現状です。従って証拠を残すというよりも、正確に仕事をするための記録を残すという目的意識でメモや録音を残すという習慣をつけることが大切なことだと思います。またこの形での証拠の確保は相手方の協力が無くても可能ですし、相手も応じやすいのではないかと思います。

■企画・設計・監理



株式会社 戸頃建築設計事務所

代表取締役 所長 小川憲一

〒310-0043 水戸市松が丘1-2-23 TEL: 029-226-4869(代) FAX: 029-226-4894

E-mail: tokoro@mbb.nifty.com

安全、安心、快適な暮らしを
お届けします。



三和シャッターワークス株式会社

水戸統括営業所 TEL.029-225-1651 FAX.029-227-2513

茨城市場開発課 TEL.029-225-3687 FAX.029-227-2513 茨城営業課 TEL.029-228-4121 FAX.029-227-2158

水戸メンテサービスセンター TEL.029-225-1625 FAX.029-227-5187 日立営業所 TEL.0294-24-2551 FAX.0294-24-6045

つくば営業所 TEL.029-863-3006 FAX.029-859-8925

古河出張所 TEL.0280-92-6978 FAX.0280-92-6998 下館出張所 TEL.0296-25-4000 FAX.0296-25-4001

つくばメンテサービスセンター TEL.029-863-3012 FAX.029-859-8925

取手営業所 TEL.0297-73-3011 FAX.0297-73-3055



つくば市立研究学園小学校・中学校

株式会社青山建築設計事務所 Aoyama Architect

〒305-0033
茨城県つくば市東新井14-3 シバハシビル4階

TEL 029-851-7430 URL www.aoyama-arc.jp
FAX 029-851-7600 Email info@aoyama-arc.jp



人とふれあう豊かな街づくり



株式会社 第一設計

代表取締役 山田 博則

写真：国営ひたち海浜公園

【本社】 〒312-0023 ひたちなか市大平3-5-3

TEL: 029-274-3056 FAX: 029-274-4604 E-MAIL: daiichi@intio.or.jp

URL: <http://www.daiichi-design.jp>

歴史・文化・芸術を 活かしたまちづくり



石岡市長
谷島 洋司



幌獅子パレード



舟塚山古墳



皇室献上柿



いばらきフラワーパークのイルミネーション



豊かな自然を活かしたスカイスポーツ



1年中楽しめる豊富な果物

はじめに

茨城県建築士事務所協会の皆さまにおかれましては、県内各地でご活躍のこととご推察いたします。また、日頃より、当市の行政運営と公共事業の推進に多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見られ、日常生活並びに社会経済も少しづつ平常に戻りつつあります。

一方で、ウクライナ情勢等の影響により、原油価格や物価高騰など、食糧やエネルギー源、工業材料の確保を中心に市民の生活においても厳しい状況が継続しています。当市では、燃料価格高騰の影響を受けた運送事業者への支援金のほか、子育て世帯生活支援特別給付金などの支援を実施しているところです。今後の先行きは依然として不透明な状況にありますが、引き続き、必要な支援を実施し、地域経済活動の向上に取り組んでまいりたいと思います。

魅力がいっぱいの石岡市

石岡市は、茨城県のほぼ中央に位置し、2005年10月1日

に旧石岡市と旧八郷町の合併により誕生した市です。市域の北西部に連なる筑波山系から南部の市街地にかけてなだらかな丘陵地が広がり、市北部から東南端へと流れる恋瀬川は、日本第2位の面積を持つ霞ヶ浦にそいでいます。その水面を含めた市の面積は215.53km²、人口はおよそ7万人。市内には旧石器時代からの遺跡や古墳が数多く残っており、大化の革新による詔により国府が置かれ、常陸國の中心として長らく栄えた街として、飛鳥や奈良と同じ古き良き香りが漂う歴史の街です。

また、50万人の見物客でにぎわう「石岡のおまつり」や花を中心とした観光施設である「いばらきフラワーパーク」、豊かな自然を活かした「スカイスポーツ」など多くの観光資源があり、果物についてはイチゴ、ブルーベリー、梨、ブドウ、栗、柿、りんご、みかんとほぼ1年中楽しめ、特に柿については産出額県内1位であり、皇室献上の献上柿(品種:富有柿)の産地としても知られています。

少子高齢化時代をどう生き残るか

当市の大課題は人口減少と少子高齢化の進展です。

40年後には人口3万7千人と今の半数、高齢化率は現在の33%から約半数に達する推計となっており、転出入では特に20代の女性の流出が課題となっています。そうした中、令和4年に今後10年間のまちづくりの羅針盤となる総合計画を策定したところです。

将来も持続可能な社会を創り上げるため、「誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市」という将来像を掲げ、その実現のため、大切にしたい基本的な考え方として「安全・安心」「魅力・発信」「対話・学び」というキーワードを基本理念として定めました。

基本理念の「安全・安心」の重要性は言わずもがなではありますが、その他のキーワードである「魅力・発信」については、当市にある様々な「魅力」を市民参画により「発信」していく視点を重視した、石岡市シティプロモーション指針を策定し、「わがまち発信室」という専門部署を設けて市民参画型のシティプロモーションを進めているところです。

また、「対話・学び」というキーワードですが、総合計画策定にあたり、若い世代の代表として高校生ワークショップを開催しており、この時にいただいた意見を採用しています。

それは、批判し合うのではなく、相手の立場に立って自分事として共に考えていくことの重要性についての意見であり、現代の多様性を尊重していく社会において非常に大切なことであると考え基本理念として採用しました。

加えて、SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)についても総合計画と連動できるよう設定しています。それは、単純に17のゴールをあてはめるだけではなく、17のゴールを構成する169のターゲットごとに当市の総合計画のどの施策が該当するのかを明らかにしています。これによって、当市の取組が明確にSDGsの実現に寄与していく形を表現するようにしています。

現在、令和6年度から令和9年度までの4年間を計画期間とする第2期基本計画の策定作業を行っており、総合計画が市民と共に、まちづくりを行っていくための共有の羅針盤として機能していけるよう取り組んでいきたいと考えています。

そのため、貴会をはじめとする建築・建設業界の皆さまがもつノウハウや技術、人材に高い期待を感じています。総合計画の将来像にも「共に創る」という表現がありますが、あら

ゆる主体がそれぞれの役割分担のもとで行政と連携・協働してまちづくりを行うことで「共に働く」社会の構築が必要であると考えています。

市が進める複合文化施設整備事業

当市では、ホール機能を中心とする複合文化施設の整備へ向けて取り組んでおり、現在、施設機能等の詳細な検討を進めているところですが、行政が整備する公共建築物として求められる性能がいくつか挙げられます。

まずは「省エネ」です。国では、エネルギー計画等に基づき、ZEB水準の省エネ性能の確保を目指すため、省エネ基準の見直しが行われます。ゼロカーボンシティ宣言をしている当市としては、基準を満たすとともに、積極的に環境への負荷の少ない施設として整備していきたいと考えています。

もう1点は「木質化」です。国では、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」(令和3年施行)により、公共建築物への木材の利用を促進しています。当市の八郷地域は周辺を広大な山林に囲まれており、産業として林業が営まれています。地域性を活かし、特色ある施設としていくための一つの手段として地場産材の活用を検討していきたいと考えています。

人口減少や厳しい財政状況など、公共施設整備を取り

巻く環境は厳しい状況ではありますが、時代のニーズを踏まえるとともに市民にとって利便性の高い複合文化施設を整備することにより、文化芸術を活かした魅力あるまちづくりを展開していきたいと考えています。

建築士事務所協会からの要望書について

住民の皆さまが、日頃から利用されている公共施設を安全に利用していただく上で、適切な施設の修繕や点検業務などを行う必要があります。必要に応じて、建物を建て替えたり、新しく建築する必要もあります。そういった中で、建築に関する専門家である建築設計事務所への設計・点検業務の委託発注は必要不可欠となります。しかし、委託業務を発注するためには、入札等の手続きが必要となり、何の裏付けもない積算では発注することはできません。また、建物の品質を確保するためには、低価格での発注が必ずしも良いものではなく、業務内容や規模に応じて適切な積算が必要になります。そのため、国土交通省で定めた基準などを基に積算を行っていますが、全ての業務において基準が示されているわけではありません。茨城県建築士事務所協会様で作られている要望書は、その他必要な部分の積算を補完する上で参考にさせていただいている。また、時代に則した必要な委託業務の積算基準や国土交通省からの情報なども

掲載されているため、適宜活用することができ、非常に有用であると考えます。

新しい石岡市の10年に向けて

これまで石岡市では、当市に必要な様々な施策の種を蒔くとともに、種を蒔くための基盤づくりを進めてまいりました。

例えば、少子化対策としては、不妊治療・不育症治療費補助金や市販のおむつパックと交換できる赤ちゃんおむつクーポン券の支給、入学祝い品としてランドセルの贈呈、学校給食への有機農産物の提供などの地場産品の割合向上や給食費の第3子以降免除などを実施しており、それぞのライフステージに沿って幅広く多様な施策を展開しています。

また、今年度初開催となる「石岡つくばねハーフマラソン」、石岡駅の東側に防災機能を有する都市公園とスケートボードパークの整備、ごみ焼却施設クリーンセンターみらい(霞台厚生施設組合)のごみ焼却熱発電からの電力購入、分娩を行う産科医療施設を開設するための支援を行うことを目的とした産科医療施設開設支援基金の設置など、様々な取組を新たに実施しています。

むすびに

今後、当市の持続可能性を見据えると、少子高齢化や人口減少による経済規模の縮小が関連する市の予算の縮小と、様々な施策を行う主体である職員数の減少によるサービス供給能力の低下という課題に、いかに対応するかという視点が重要になります。更に、地球温暖化による災害の激甚化などが世界的な課題である一方で当市の地勢にも少なからず影響を与える事態となっています。

この2つの大きな課題について、DX(デジタルトランスフォーメーション)やGX(グリーントランスフォーメーション)の取組を推進するため、引き続きリーダーシップを發揮して市政運営に邁進してまいりますので茨城県建築士事務所協会様、ならびに会員の皆さんには今後とも、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〈インタビューを終えて〉

谷島市長は令和2年4月に市長に就任し、「共生・共育・共働のまちづくり」というスローガンを掲げてこられました。常に「市民目線」で市民の声を聴き、住んで良かった、住み続けたい、住んでみたい。そんな石岡市となっていくよう頭の中には、まだ様々なビジョンがあるようでした。それらに向けた政策や課題と共に「夢のある石岡」が実現できるよう心より応援したいと思います。益々のご活躍を祈念しております。

(広報委員会／山田)



霞台クリーンセンターみらい



石岡市

〒315-8640

茨城県石岡市一丁目1番地1

電話 0299-23-1111

URL <https://www.city.ishioka.lg.jp/>

面積:215.53平方キロメートル

(令和5年7月1日現在)

人口密度(総面積1平方キロあたり):

326.3人(令和5年10月1日現在)

常住人口:71,055人(令和5年12月1日現在)

世帯数:31,881世帯(令和5年12月1日現在)



建設コンサルタント
建設コンサルタント 大臣登録 建04第10909号 漢業 大臣登録 第(8)-17467号 一級建築士事務所 知事登録 第A1302号

株式会社 玄 設 計

代表取締役 川津 保

茨城県水戸市酒門町4287番3 TEL 029-240-1480 FAX 029-246-2627

株式会社 桜設計事務所

代表取締役 山田一博

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1239
TEL 029-241-8441 FAX 029-241-8579
E-mail:cnsakura@cocoa.ocn.jp(代表)

金属屋根設計製造施工／シート防水施工

株式会社 萬道総業
代表取締役 社長 万道 博志
<https://www.mandou.co.jp>

本社 〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中1丁目8番6号

TEL 0299-83-1866 FAX 0299-83-1861

東京支店 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町9-3

日本橋相互ビル501

TEL 03-6661-2956 FAX 03-6661-2957

iijima
IIJIMA WOOD WORKING CO.,LTD.

代表取締役
飯島 隆

飯島木工株式会社

〒310-0913 茨城県水戸市見川町 2537-10 TEL 029-241-6047 FAX 029-241-6828
URL : <http://www.ww-ijima.com> E-mail : info@ww-ijima.com

■事業内容
木工造作工事
造作家具工事
木製建具工事
家具設計製作
建築内装工事



建築視察研修

古都「奈良」「大阪」

～世界文化遺産の建築物から近・現代建築を巡る旅～



奈良・大阪 視察研修
日時／令和5年10月20日(金)～22日(日)
参加／25名
報告／中山 康弘、坪 嶽太、大塚 美沙、安 元

4年ぶりの開催となりました建築
視察研修は本澤委員長をリーダー¹
とする25名で奈良・大阪を巡る2泊3日(令和5年10月20日(金)～
22日(日))のスケジュールで探訪
して参りました。



西の地で様々な年代の建物にふれる事ができた有意義な時間。



視察研修1日目 春日大社と東大寺

数年ぶりに開催された建築士事務所協会の研修旅行。初日の研修先は奈良の春日大社と東大寺。春日大社は鮮やかな朱と白の外観に茅葺きの屋根。軒下にはたくさんの釣燈籠が設けられています。御本殿の中には、燈籠をたくさん吊るし、全面鏡張りにすることで、万燈籠を再現している藤浪之屋という部屋もありました。境内全体に設置

されている釣燈籠。1基設置するための寄付金は実に弐百萬とのことです。

続いて東大寺。現存している大仏殿は江戸時代に再建された建物で、桁行57m、梁行50.4m、高さ49mあり世界最大級の木造建造物です。その中には座高15mもある奈良の大仏が鎮座しており、壮大なスケール感に驚かされました。

(株)中山設計事務所 中山 康弘

①参道を進む会員の皆様 ②幻想的な雰囲気を醸し出す釣燈籠 ③重要文化財の中門・御廊 ④世界最大級の木造建造物である東大寺大仏殿 ⑤壮大なスケールで鎮座する盧舎那仏 ⑥国の天然記念物に指定されている奈良公園の鹿

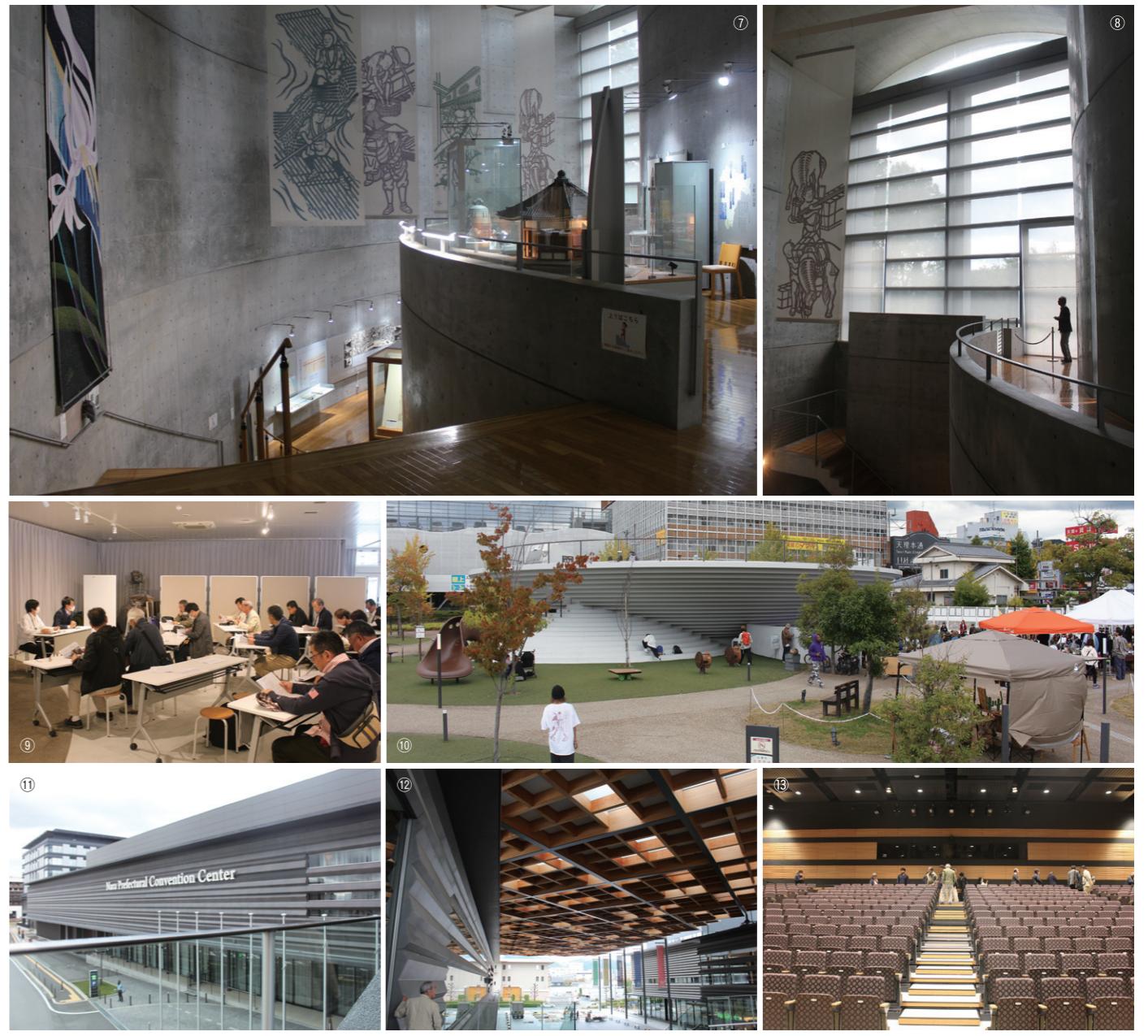
視察研修2日目 五條文化博物館とコフン

始めに市立五條文化博物館を見学させて頂きました。3階に上がってからブリッジを渡ってメインエントランスに至るアプローチは一見特殊ですが、ブリッジを渡った先に円筒形の建物を切り欠いた部分があり、周囲の景色とメインアプローチの軸線を重ね、来館者の建物への高揚感や期待感を高められる素晴らしいアプローチだと感じました。内

部空間も外に開きすぎず、部分的にスリットなどで採光を取り、落ちていた展示空間となっていました。次に訪れた天理駅前広場コフンでは、“テーブルコフン”で食事を楽しむ人々や、“ふわふわコフン”で飛び跳ねて遊ぶ子ども達と見守るお母さん方、そして“ステージコフン”でビートに乗って体をゆらしながら音楽を楽しむ若者たちが居て、多種多

様なぎわいが生まれている様子を見る事ができました。広場のハード面だけでなく、使われ方ソフト面も細かく設計されている広場なんだなと感じました。年代様々な建物を見てとても勉強になりました。

(株)増山栄建築設計事務所
坪 嶺太
大塚 美沙



⑦⑧安藤忠雄氏が手掛けた五條文化博物館。五條市の文化を収蔵するだけではなく、「五條市について知つてもらおう」という目的でつくられた ⑨天理市による説明 ⑩天理駅前広場コフンは、まちの元気をつなぐ、にぎわいづくりの拠点となった ⑪⑫⑬世界遺産に囲まれる「古都・奈良」の中心地に県内最大の会議場・観光交流拠点が誕生



⑭⑮⑯地上173メートル、視界360°。風を感じながら迫力の大パノラマを楽しめる梅田スカイビルディング
⑰(株)遠藤克彦建築研究所／設計 2021年竣工の「大阪中之島美術館」の前で記念撮影 ⑱⑲同美術館は、誕生以来大阪の新たなアートの拠点となっている

視察研修3日目 梅田スカイビル空中庭園展望台と大阪中之島美術館

梅田スカイビル空中庭園展望台

梅田スカイビル空中庭園展望台は淀川の隣に位置し、大阪湾を向かえ、約170mの高さで、大阪市街を俯瞰できる場所に位置していました。

梅田スカイビルは、原広司+アトリエ・ファイ建築研究所と竹中工務店が共同で建築設計を行い、1993年3月に竣工した日本で有名な超高層ビルです。

梅田スカイビルは、タワーイースト(東棟)、タワーウエスト(西棟)の2棟で構成されています。外壁は主にガラス張りがメインになっていましたので、青空と白い曇りが反射して、空に溶け込んでいる感じでした。

建築では素材の表現は面積より大きくなります。一つの小さいガラスは窓に見えますが、広い範囲のガラス張りは湖みたいに周辺の環境を反射し、融合します。

今回見学したのは、最上部になる「空中庭園展望台」でした。「梅田スカイビ

ル」が世界的に有名な建築になったのは、「空中庭園展望台」の設計があるからだと思います。単純に東西棟のビルを連結した平台を造ったのではなく、「空中庭園展望台」中心には約直径30mの円形の穴を設けました。この巨大な穴により、構造的に有利になり、下階の採光も確保できましたし、展望台に行く動線の面白さも増えました。エレベーターで直接展望台に移動するのではなく、エスカレーターで穴を貫通することはとても特別な体験になりました。空中庭園も円形の穴により、観光者たちが自発的に展望台を一周することになりました。

建築の設計は、一方的にモノを増やすことではなく、モノを適切に減らすことも重要だと思います。

大阪中之島美術館

大阪中之島美術館は、「宙に浮く黒い箱」という考え方で設計された建物でした。広場と歩道橋と連結する2階の部

分はほぼガラスなり、ガラス目地から900程度内側に丸柱を配置しました。外部から見ると、ガラスとガラス目地のみになり、3階と4階の「黒い箱」部分が浮かんでいる視覚効果を創りました。

見学前は、外壁材は黒いタイルだと思いましたが、実際は凹凸がコンクリート系の素材でした。恐らく、凹凸にしたのは最大限に反射を抑えるためだと思います。

建築を設計する際に、建築材料をセットに考えなければならぬことを深く感じました。

見学で、大阪中之島美術館は、まるで日本の宝物を黒い箱で「守る」イメージがとても強かったです。

事前調査で、河川水の熱を利用した地域冷暖房システムもあることが分かりました。次回、機会があればぜひ見学したいです。

(株)andHAND建築設計事務所 安元

古都「奈良」「大阪」 ～世界文化遺産の建築物から近・現代建築を巡る旅～ 研修を終えて

■梅田スカイビルを訪れて、その印象は一言で言えば圧巻でした。まず、その建物自体が斬新で美しいデザインを持っており、周囲のビルとの対比が素晴らしいです。展望台からの景色も感動的で、大阪市内を一望できる絶好のロケーションです。また隣接して設けられている里山や安藤忠雄氏が発案した希望の壁が都市の中で自然の美を感じる素晴らしい場所でした。梅田スカイビルに訪れたことで、大阪の都市景観や建物に対する新たな洞察を得ることができ、その美しさと機能性に感銘を受けました。これは訪れる価値がある場所であり、大阪の魅力を存分に体験できました。

(株)相澤建築設計事務所 宮脇太平

■3日間で春日大社、東大寺、五條文化博物館、なら100年会館、中之島美術館など、奈良と大阪の建物を見学しました。東大寺の建物敷地配置

研修旅行の中、最も印象的な建物は国宝になる東大寺です。南大門(25.46m)、中門、大仏殿(46.1m)の高い建物を一つの長い軸線に配置したことが、訪問者に古い時代からの威厳を与えました。

〈東大寺南大門〉

東大寺でもう一つ印象的な建物は南大門です。外観的には2階建ての建物でしたが、実際は天井がない、上層まで通る柱で屋根を支えた建物です。構造的にはとてもシンプルな構成です。このシンプルな構造は、再建以来、800年の時間内で、風にも、雨にも、地震にも負けなかった構造でした。

〈感想〉

複雑なことより、機能を確保したシンプルな配置と構造が長い時間を経ても、まだ輝いています。

(株)andHAND建築設計事務所 安元

■今回の建築視察研修は、2019年以来4年ぶりの開催になりました。担当の研修委員会で毎年企画はしてきましたが、コロ

ナ禍のため直近3年間は中止となっていました。東北の復興支援施設、一泊二日の長野県(現地集合・現地解散)、日帰り東京オリンピック施設見学等最終的にはすべて中止という結果。久しぶりの視察研修復活で参加の皆様満足いただきましたでしょうか?茨城空港から神戸を経て初の古都奈良、そして大阪へ。世界文化遺産～現代建築を巡りました。日程的にはいつものハードスケジュールから余裕のある見学になり、時間をもて遊ぶ感じになってしまったのは次回の課題になりました。最終的に無事4年ぶりの視察研修が実施できた事で安堵しています。委員長お疲れ様でした。

一級建築士事務所イディ 石黒幸喜

■天候が心配されましたが、見学先では降られることもなく天候に恵まれ文化遺産伝統建築と現代建築を巡ることができました。奈良、大阪と観光客が多くインバウンドの凄さに驚かされました。

構造技術の粋を集めて建てられた奈良県コンベンションセンター、奈良100年会館、天理コフン駅前広場など商業目的の建物は利用、活用されて人々が集まる場となる事が最終目的であると改めて思いました。

奈良、大阪と観光客が多くインバウンドの凄さに驚かされました。

構造技術の粋を集めて建てられた奈良県コンベンションセンター、奈良100年会館、天理コフン駅前広場など商業目的の建物は利用、活用されて人々が集まる場となる事が最終目的であると改めて思いました。

奈良県内に安藤建築は無いと思っていました。しかし、五條市の山中にひっそり存在感がある建築物が通称「五條バウム」と呼ばれているバウムクーヘンの一部をナイフで切り取った形態で、その真ん中の空洞部を中庭とした建築空間は、安藤建築としての存在感を醸し出していた。

(株)河野正博建築設計事務所 河野正博

■4年ぶりの建築視察研修で訪れた「なら100年記念館」磯崎先生の作品である。この作品は船をモチーフにデザインされたホールであるが、つねにあるノバホールとは全く違うデザインで局面の美しさにうつりする感覚を覚えた。残念ながら、当日は公演日なのでホール内見学は出来なかったが、外部の全面を覆うタイルの割付は実に見事である。以前に外部だけ見学したシンガポールのエスプラネード・シアターズ・オン・ザ・ベイ(通称ドリアンホール)を思い出した。「こんなことも出来るんだ。」これが小生の感想です。

(株)中山設計事務所 中山正巳



んべい」が売っていなかった。奈良公園の鹿にちょこんと頭を下げられ与えるせんべい。あれをすごく楽しみにしていたのに。とても残念でした。天理駅前の「コフン」。小さな施設でしたが、もう地域の人々に無くてはならない施設のようでした。五條文化博物館は「五條バウム」を見るのを忘れた。久々に訪れた「梅田スカイビル」周囲がすっかり変わっていた。遠藤先生の大坂中之島美術館。見学できたので次は大子町役場です。

(有)AkH建築設計室 本澤幸一

■東大寺周辺は、修学旅行で訪れていた。驚きは昔の人の建築技術、そして昔ながらの製法で作られている漆黒な奈良漬けは、常温で2年持つそうです。買えなかったのが残念でした。買いたかつたなー。

M'sBOX建築設計事務所 沼田弘次

■奈良県内に安藤建築は無いと思っていました。しかし、五條市の山中にひっそり存在感がある建築物が通称「五條バウム」と呼ばれているバウムクーヘンの一部をナイフで切り取った形態で、その真ん中の空洞部を中庭とした建築空間は、安藤建築としての存在感を醸し出していた。

(株)河野正博建築設計事務所 河野正博

■4年ぶりの建築視察研修で訪れた「なら100年記念館」磯崎先生の作品である。この作品は船をモチーフにデザインされたホールであるが、つねにあるノバホールとは全く違うデザインで局面の美しさにうつりする感覚を覚えた。残念ながら、当日は公演日なのでホール内見学は出来なかったが、外部の全面を覆うタイルの割付は実に見事である。以前に外部だけ見学したシンガポールのエスプラネード・シアターズ・オン・ザ・ベイ(通称ドリアンホール)を思い出した。「こんなことも出来るんだ。」これが小生の感想です。

建築士事務所キャンペーン in 建設フェスタ2023

10月7日に開催された「建築士事務所キャンペーン」に当協会も行って参りました。

主催者発表では約15,000人もの来場者があったとのことで、大変賑わいのある一日でした。当日のキャンペーンの様子を紹介します。

建設フェスタは、茨城県内の公共団体や建設産業に関連する各種団体が一体となって、県民の暮らしや経済活動に不可欠な社会資本整備の重要性と建設産業の魅力を広く県民に伝えることを目的に開催するイベントです。(建設フェスタHPより抜粋)

今年も会場はひたちなか市笠松運動公園で、10月7日(土)に開催され、さわやかな秋晴れで絶好のイベント日和となりました。

総務委員会にも協力を仰ぎながら、事務局と小室副会長をはじめとする広報委員会のみなさんとともに、「建築士事務所キャンペーン」を行って参りました。

人の出は午後から徐々に増えるスローペースな状況でしたが、今年は、コロナ禍前の開催と同様の形式に戻り、飲食も自由に行えるイベントとなりました。主催者発表では約15,000人の来場者があったとのことで、大変賑わいのある一日でした。

企画内容としては、大人気の「ストローハウス」。これは、接点にクリップを使い、ストローを接続して作っていくものです。つなげ、つなげでカタチになっていく様子は、クリエイティブな思考に結び付くとともに、その空間感を目の前で体感でき、つくることの楽しさを味わうことができる醍醐味です。また、もう一つのイベントとして今回復活させた「空間ワークショップ」。こちらも人気があり、順番待ちとなるシーンもありました。素材として、 $30\times30\times1,800/900$ 程度の角材をゴムを用いてつなげていき、等身大の空間がつくれる楽しさがあるものです。我々は、参加の子供たちにアドバイスをする程度とし、自分で考えてつくってもらうスタンスを取り組んでいます。試行錯誤しながら自分で考えてつくった1/1(原寸大)の空間ができるこの企画は、楽しさと喜びにあふれた協会独自の特徴的なイベントの一つになっています。

他には、今回新たな試みとして「釘打ち体験コーナー」をブースの一角に設けました。丸太に自由に釘を打つだけの内容なのですが、釘を真っすぐ打ち付けるのは、やはりコツがいるようで、大人でも悪戦苦闘している様子がありました。一方、

■数年ぶりの研修旅行。実に楽しませていただきました。初日は春日大社と東大寺などの旅行の定番地。春日大社は人生初訪問で燈籠の多さには非常に驚かされました。燈籠1基設置するために寄付金が式典萬かかるというところにも驚かされました。東大寺は何度か来たことがあります。やはりスケール感がすごいと感じました。コンベンションセンター等では、個人旅行ではなかなか見学することができない、細かい部分も見学することができ、非常にためになる研修旅行でした。また、参加したいと思います。

(株)中山設計事務所 中山康弘

■なかなか行く機会のない奈良で、日本の伝統的な建築物と有名な建築家の建物を見ることができます。とても有意義な研修旅行でした。特に五條文化博物館の「静」と天理駅前広場コフンの「動」は地方都市で設計にたずさわる者として考えさせられることが多いです。

(株)根本建築設計事務所 根本洋一朗

■旅の初日は春日大社の歴史と燈籠の美しさに感動。二日目は個人的に神戸での会合に参加するため別行動をさせていただき、早朝に鹿で有名な奈良公園へ散歩。宿泊ホテルから一直線に進むと一の鳥居に到着します。公園には人も少なく鹿がゆったりと過ごしている様子に心を癒される思いになりました。奈良公園に隣接する興福寺・五重塔・東金堂・南円堂と参拝をして御朱印を頂きました。古い町並みを楽しみながらの散策です。また、高校での修学旅行では公園近くの猿沢の池前ホテル宿泊時に皆ではしゃぎながら枕投げをし、先生に叱られたことを思いだす旅となりました。3日間、とても楽しい旅になりました。担当委員会の皆様に感謝です。

(株)ハース 柳下文江

■関西、近畿方面の旅行といつても中々奈良方面に足を伸ばす機会がなく歴史好きな私にとっては2度目の奈良で本当に楽しみにしていました。1日目は春日大社から東大寺と日本文化の真髄と言える建物と大仏様に感動し2日目は奈良なら

ではの近代建築を堪能できました。3日目は大阪に移動し以前から気になっていた梅田スカイビル空中庭園そして道頓堀を散策しました。普段TVなどでインバウンドの紹介をよくしていますが実際にそれを見たときに「Black Box」という言葉がぴったり当てはまる重量感のある外観と、それが宙に浮いているような浮遊感のミスマッチが印象的な建物がありました。光は、効果的に中央の吹き抜けを照らし、その開口をこちら側から見上げると、額縁で切り取られた大きな絵が飾られているようでした。

ハナワ建築設計事務所(株) 塙万治

■まず1日目は春日大社、東大寺など奈良公園内の歴史的建造物を見学させていただきました。春日大社は朱色や燈籠が多く並ぶ色鮮やかな印象を受けました。東大寺南大門は重源の大仏様として現存する数少ない建物でそりむくりの少ないシンプルな構成、接ぎ木なしの一本の柱の存在感に圧倒されました。2日目は安藤忠雄氏の市立五條博物館を見学しました。高台に位置し高低差があるため、最上階にままでそこからアリッジで山々が見える景色に視線を誘導し、見学者に高揚感や期待感を与え、円弧に従って下りながらゆっくり展示を見る動線はとても斬新で通常は逆の動線を考えがちなのでとても勉強になりました。天理駅前広場コフンは佐藤オオキ氏の設計で全体のコンセプトを壇上の山もしくは崖とし、レベル差をあえて

作ることでただ通過していた場所が場所が立ち寄る場所や休む場所となりコミュニケーションを誘発する手法はとても面白いと思いました。

結設計事務所 小谷野栄次

■令和元年の北九州以来4年ぶりの研修旅行で個人的にも久しぶりの奈良と大阪でした。奈良では東大寺や春日大社等の歴史的建造物や五條文化博物館、奈良県コンベンションセンター、なら100年会館を見学しました。中でも天理市職員の方から天理駅前広場のプロポーザル実施についてや人の集まる工夫について説明を受け、実際に見学することができたことはとても勉強になりました。またバスの車内にてバスガイドさんより天理駅周辺に点在する天理教の母屋を紹介いただき、その光景には圧倒されました。大阪では梅田スカイビル、中之島美術館を見学できました。大階段を下り各展示室をめぐる動線は、思いのほか空間の縱の広がりを感じ

事務局 小澤和也



ストローハウス



子ども空間ワークショップ



文化賞パネル展示



釘打ち体験

子どもたちの方が力任せではなくリズミカルに打ちこんでいくことで、上手に釘打ちができていたように見えました。そして他には建築文化賞の作品展示と、100本×2回の無料苗木配布も建設フェスタではおなじみの企画です。参加してくれた子供たちに用意したお土産のお菓子300セットは、イベント終了前に無くなっている状況でしたので、盛況のうちに終了することができたようです。

その後の反省会の中で、昨今のSDGsの観点からストローハウスで使用するクリップとストローがもしかすると、ゴミを生み出しまってないかという意見も出て、今後の課題として話し合っていきました。また、毎回感じるのは、将来を担っていく子どもたちが、ものづくりへの喜びや仕組みへの探求心を感じる機会として一定の成果を得られないと自負できるものの、イベント協賛金や会場費用等の出費を含めると、キャンペーン(建築士事務所協会を知つもらう)に見合っているのかという冷静な意見もありました。今後どのようなスタイルが協会キャンペーンに相応しいのか、見直していく必要もあるといふこと、しばらく頭を悩ませていくことになりそうです。



株式会社 若柳建築事務所

〒305-0868 茨城県つくば市台町1丁目8-1
Tel:029(886)8034 Fax:029(886)8035
URL:<http://wakayanagi.co.jp>

申請・検査予約は
NICE
WEB申請 システム
スマホやタブレットでも
利用可能！

詳しくは[こちら](#) QRコード

「適正、迅速で丁寧な審査」をモットーに、
常にお客様から選ばれるセンターを目指します。

建築確認・検査をはじめ、B E L S評価等省エネに係る
様々な業務などを行っております。
事前の相談にも対応しております。是非お声がけください。



一般財団法人
さいたま住宅検査センター

お問合せは 048-621-5119（営業部）まで

直近の施工事例

私達は、公共施設、医療施設、介護・子育て支援などの福祉施設、商業施設、オフィス、工場、一般住宅、賃貸マンション等の多種多様な建物の新築工事やリフォーム工事をしております。また、不動産の資産運営活用もご提案させて頂いております。地域の人々が幸せに暮らせる安心・安全で豊かな街づくりを応援しています。

私達は地域活性化のために多種スポーツ競技に
スポンサー企業として 協賛・社会貢献しております

江戸崎地方衛生土木組合
環境センター ごみ焼却施設

ジョイアス大町

石岡明照保育園

水戸黄門漫遊マラソン

Jリーグ Hollylock

J2水戸ホーリーホック

いきいき未来へ
コスモ総合建設株式会社
代表取締役 池田 勇夫

本社／〒310-0842 茨城県水戸市けやき台2丁目13-2 TEL.029-248-5358㈹ FAX.029-248-5377 <http://www.cosmo-ac.co.jp>
つくば営業所／〒305-0033 茨城県つくば市東新井2-1 KMS-S2-403号室 TEL.029-852-5000 FAX.029-852-5077



コスモ総合建設 検索



(一社)関東地質調査業協会 所属
茨城県地質調査業協会 所属
国土交通大臣登録業者

常磐地下工業株式会社

代表取締役社長 伊藤 康博

本 社 〒317-0056
茨城県日立市白銀町2丁目24番11号
TEL 0294-22-8196 FAX 0294-22-9852

水 戸 営 業 所 〒310-0042
茨城県水戸市自由が丘 5-50
TEL 029-353-6716 FAX 029-353-6717

ひたちなか営業所 〒312-0062
茨城県ひたちなか市高場2丁目13番4号
TEL 029-212-7660 FAX 029-212-7661

すべての環境に『安心』を…

設計・監理

 株式会社**須藤設計**

本 社／土浦市中高津1-15-18 ㈹029-822-4362
つくば設計室／つくば市千現1-17-15 ㈹029-893-2297

HAN

設計・監理

(有)汎連合設計



スーパーマーケット学園の森店

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町 1214-3 齊藤ビル 2F

TEL 029-244-5472 FAX 029-244-5482

E-mail han-sekkei@msj.biglobe.ne.jp

今日も一日安全作業 土木建築鉄筋工事業一式 株式会社 大平組

代表取締役 大平 智彦

〒311-4144 茨城県水戸市開江町1590-4 電話: 029-252-1772 FAX: 029-254-2888
URL: <http://www.oohiragumi.jp> E-mail: info@oohiragumi.jp
2023年度 経営スローガン

ONE TEAM ONE DREAM

全員で同じ夢に向かって突き進み、皆が幸せになる3K(休暇、給与、環境)を掴み取ろう
一般社団法人茨城県建築士事務所協会認定 茨城県優良鉄筋施工業者



セメント生コン販売代理店、パイル販売代理店

常陸大理石株式会社

代表取締役 梶山治夫

本社 〒313-0042 茨城県常陸太田市磯部町132
東京営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-2-1 東邦深澤ビル/6C ☎03-3813-3951 (代)
<http://www.stone.co.jp/>

報告

2023年表彰



令和5年 秋の叙勲
旭日単光章

大竹 伸一 氏

(株)フジクリーン茨城 取締役会長
(公社)茨城県水質保全協会 理事・元副理事長
茨城県建築士事務所協会 賛助会員



第35回
住生活月間功労者表彰
[国土交通大臣表彰]

小沼 隆志 氏

(株)玄設計 専務取締役
(一社)茨城県建築士事務所協会 常務理事



令和5年度
茨城県表彰
[功績者]

小室 晶 氏

(有)汎連合設計 取締役
(一社)茨城県建築士事務所協会 副会長



令和5年度
建築事業関係功労者等
国土交通大臣表彰
[住宅・建築事業関係]

久保田 吉文 氏

(有)クボタ建築設計事務所 代表取締役
(一社)茨城県建築士事務所協会 会員



令和5年度
(一社)日本建築士事務所協会連合会
年次功労者表彰

根本 洋一朗 氏

(株)根本建築設計事務所 代表取締役
(一社)茨城県建築士事務所協会 副会長

New member introduction

新会員紹介 2024.January



正会員

マチダ設計工房

町田 豊

〒300-1232

牛久市上柏田3丁目50-5番地
tel.029-873-9229



賛助会員 建設業

日綜産業株式会社 茨城営業所

石井 勝也

〒319-0206

笠間市安居3133-1
tel.0299-45-0331



正会員

イガラシ総業株式会社

五十嵐 則夫

〒317-0073

日立市幸町2丁目8番6号
tel.0294-85-8100



賛助会員 建設業

株式会社 小池住建

小池 大允

〒313-0353

常陸太田市上高倉町549
tel.0294-87-0116



正会員

周作工業 株式会社 二級建築士事務所

根本 周作

〒310-0913

水戸市見和町2131-1288
tel.029-239-3409



賛助会員 再生可能エネルギー事業

株式会社 HT

木本 信太郎

〒310-0851

水戸市千波町127-2
tel.029-241-9100



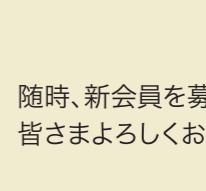
正会員

大川建設一級建築士事務所

大川 拓也

〒311-1517

鉾田市鉾田655-4
tel.080-1148-0773



随時、新会員を募集しております。
皆さまよろしくお願ひいたします。

会員変更事項一覧 (令和5年8月～令和6年1月) 会員に変更が生じましたので会員名簿の変更をお願いします。

正・賛	事務所名	会員名簿 ページ	変更事項	変更後
正会員	坪和建築設計事務所	22	事務所名	坪和設計
			住所	〒317-0051 日立市滑川本町1-22-19
			TEL・FAX	TEL0294-33-8557 FAX0294-33-8587
	茨城セキスイハイム(株)	26	会員名	鈴木 芳仁
	住友林業(株)水戸支店	33	会員名	飯塚 章匡
	大和リース(株)水戸支店一級建築士事務所	34	会員名	三好 浩平
	中央技術(株)	35	会員名	富山 英明
	(有)戸田巧建築研究所	36	会員名	皆川 昌宏
	(有)鹿内建築設計事務所	48	会員名	鹿内 純子
	(株)須藤隆建築設計事務所	49	事務所名	(株)須藤設計
			住所	土浦市中高津1-15-18
			会員名	櫻井 成郎
賛助会員	常磐建設(株)一級建築士事務所	51	住所	〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2846-1
	ビオトボス建築計画	52	事務所名	(株)ビオトボス建築計画
	山本工務店一級建築士事務所	53	会員名	山本 一廣
	(株)オカムラつくば支店	63	会員名	橘川 達郎
	(株)ジャパンエコーサービス	64	会員名	菱沼 真幸
	高橋商事(株)	64	会員名	高橋 正太郎
	(株)サンゲツ水戸営業所	68	事務所名	(株)サンゲツ茨城営業所
			住所	〒305-0817 つくば市研究学園5-12-10 研究学園スクウェアビル501号
			会員名	佐伯 聰仁
			TEL・FAX	TEL080-3635-0753 FAX048-711-2681
	北海道パーケット工業(株)	72	会員名	堀井 亮平
	ホシザキ北関東(株)水戸営業所	76	事務所名	ホシザキ北関東(株)茨城支店
			住所	〒305-0033 つくば市東新井8-1 ブルーボックス1F
			TEL・FAX	TEL029-850-5733 FAX029-850-5734
	(株)イトーキ東関東支店茨城オフィス	77	支店名	(株)イトーキ茨城支店
			会員名	室田 浩行
	(株)総合資格宇都宮支店	78	会員名	大木 照道

Editors Voice

編集後記 2024.February

年が明けて令和6年になりました。本年も宜しくお願いいたします。今回の79号は、新春号ということで首長インタビューが恒例の特集記事になります。今回は石岡市谷島市長を訪問しました。実は今回、インタビューへの初動が遅くなり、発刊が1か月延びてしましましたことをおわびいたします。

そして今年は40周年記念の行事も控えていますので会報誌とあわせて報告記事の執筆、他でもご協力頂くこともあるかと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。また、年明け「令和6年能登半島地震」が発生し、まだ余震も多い中、被害の全容が見えない状況が続いております。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆さんに心よりお見舞いを申し上げます。地震や津波の自然災害の猛威は、無慈悲で建築の無力を痛感させられます。一日も早い復興復旧、支援・救出活動の進展を念じ、応援していきたいと思います。(山田)





MITSUO YOKOSUKA
ARCHITECTURAL CO., LTD.

事務所 / 茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル 〒310-0021
TEL.029(225)4353 FAX.029(225)1794
東京支店 / 東京都杉並区梅里1-3-12 テラスキヨウ101号室 〒166-0011
TEL-FAX.03(5378)6617
つくば営業所 / つくば市高見原3-1-23 アメニティー高見原202 〒300-1252
TEL.029(896)3978 FAX.029(896)3968
URL <http://www.design-yokosuka.co.jp> E-mail yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp





株式会社 パル・シンセシス・デザイン

〒 310-0852 水戸市笠原町1050-1アクリアビル2F TEL. 029-243-0540(代) FAX. 029-243-0548
E-mail:arc@pal-sogo.co.jp



会報 茨城 iBARAKI

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

会報[茨城] 2024年2月 第79号

発行 ● 令和6年2月1日(年2回発行)

発行部数 ● 800部

発行者 ● 一般社団法人 茨城県建築士事務所協会 会長 舟幡 健
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 建築会館2階

TEL.029-305-7771 FAX.029-305-7791

ホームページ <https://www.i-jk.org> Eメール ikyokai@i-jk.org

制作 ● (株)メディアクロス水戸

編集メンバー

小室 晶 大山 早嗣 富田 清一 和田 淳一
山田 一博 茂垣 直樹 鈴木 啓之 菊池 洋次
福田 明良 石坂 健一 北村 廣美



一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
<https://www.i-jk.org>